

① 岩瀬保育園 1948(S23)～

設立 1948年当時、岩瀬地域は農家が多く、嫁が子どもを背負って田植えをするなど、労働力として農作業をしていた。作業の大変さで体調を崩してはと考えた農家の代表が、浄土宗西念寺(岩瀬1526)の住職に相談、11月、寺の本堂で託児所「岩瀬幼児園」を開設した。子どもたちがピアノに合わせて本堂でスキップをして、1年で畳が擦り切れたり、仏様が振動で前に動き出したりなど、今では語り草になっている。

51年、社会福祉法人岩瀬保育園となり、54年、境内に園舎が完成した。65年には、社会福祉法人つきかけ会岩瀬保育園となった。

現園長の富田英雄は、地理、社会、理科の教師として、湘南高校他県内の中学・高校で教壇に立ったが、37歳で西念寺住職、72年39歳で保育園園長になった。その後同じ教師だった妻とともに、幼児教育に携わった。

お寺の保育園 自然環境に恵まれ、感謝の心などについてのお話を聞いたり、毎朝仏様の歌「ののさまに」を歌う。花まつり(お釈迦様の誕生日)、涅槃会(お釈迦様が亡くなった日)、お盆、お彼岸などは本堂にお詣りし

焼香する。プール開きには園長が安全祈願をする。

食育 初代園長は「子どもには、美味しい食事・安心して眠る場所・思い切り遊ばせること」が大事と話していた。園では手作りの給食を心掛け、近所の農家から届く新鮮な野菜を使い、食育基本法が出来る以前から、生きるための基本「食育」を大切にしている。

障がい児保育 50年以上前、障がいのある子どもが入園し、園の生活で大きな成長が見られた。現在も障がい児、健常児が共に日々を過ごす。小学校との連動が無いことが残念と園長は話す。

つきかけ会 65年、社会福祉法人つきかけ会を設立し、岩瀬保育園の他、オレンジ、オレンジ分園 Sprout、病児・病後児保育室ネステ大船、明照フラワーガーデン保育園が所属し、乳児保育、障がい児保育にも力を注いでいる。

